

疵

小林多喜二

青空文庫

「モツプル」（赤色救援会）が、「班」組織によって、地域別に工場の中に直接に根を下し、大衆的基礎の上にその拡大強化をはかっている。

××地区の第××班では、その班会を開くたびに、一人二人とメンバーが殖えて行った。新しいメンバーがはいつてくると、簡単な自己紹介があった。——ある時、四十位の女人が新しくはいつてきた。班の責任者が、

「中山さんのお母さんです。中山さんはとうとう今度市ヶ谷に廻ってしまったんです。」
と、いつて、紹介した。

中山のお母さんは少しモジ／＼していた。

私は自分の娘が監獄なにはいつたからといつて、救援会にノコ／＼やってくるのが何だかずるいような気がしてならないのですが……

娘は二三カ月も家にいないかと思つていつると、よく所しよかつの警察から電話がかゝつてきました。お前の娘を引きとるのに、どこそこの警察へ行けといつのです。私はぎょう天しで、もう半分泣きながらやつて行くのです。すると娘が下の留置場から連れて来られます。

青い汚い顔をして、何日いたのか身体中プーンといやなおいを見せているのです。——娘の話によると、レポーターとかいうものをやっていて、捕かまったそうです。

ところが娘は十日も家にいると、またひよっこり居なくなるのでした。そして二三カ月もすると、警察から又呼びだしがきました。今度は別な警察です。私は何べんも頭をさげ、親としての監督の不行届を平あやまりにあやまって連れてきました。二度目かに娘は「お前はまだレポーターか」って、ケイサツでひやかされて口惜しかったといっていました。私はそんなことを口惜しがる必要はない。早く出て来てくれてよかったといいました。娘が家に帰ってくると、自分たちのしている色んな仕事のことを話してきかせて、「お母さんはケイサツであんなに頭なんか下げなくたっていゝんだ。」といゝました。娘はどうしても運動をやめようとはしません。私もあきらめてしまいました。それから直ぐ矢張り、又いなくなつたのです。ところが今度は半年以上も、消息はありません。そうなる、私は馬鹿で毎日々々警察からの知らせを心待ちに待つようになりました。（笑声）

スパイが時々訪ねてくると、私は一々家の中に上げて、お茶をすゝめながら、それとなしに娘のことをきくのですが、少しも分りません。——すると、八カ月目かには、娘が

ひよつこり戻ってきました。何んだか、もとよりきつい顔になっていたように思われました。私はその間の娘の苦労を思つて、胸がつまりました。それでも機嫌よく話をしていました。

私たち親子はその晩久しぶりで——一年振りかも知れませんが——そろって銭湯に出かけて行きました。「お母さんの背中を流してあげるわ。」この娘がいつになくそんなことをいゝます。私は今までの苦労を忘れて、そんな言葉にうれしくなりました。

ところがお湯に入つて何気なく娘の身体をみたとき、私はみる／＼自分の顔からサーツと血の気の引いて行くのが分りました。私の様子に、娘も驚いて、「どうしたの、お母さん？」といゝました。私は、どうしたの、こうしたのじゃない、まア、まア、お前の体は何んとしたことだといゝました。いゝながら人前だったが、私は半分泣いていた。身体中いたる所に紫色のキズがついている。

「あゝ、これ？」娘は何んでもないことのように、「警察でやられたのよ」といった。

それから笑いながら、「こんな非道い目に会うということが分つたら、お母さんはあいつらにお茶一杯のませてやるなんて間違いだということが分かるでしょう！」——それは笑いながらいったのですが、然しこんなに私の胸にピンと来たことがありませんでした。

これは百の理窟以上です。

娘は次の日から又居なくなり、そして今度という今度は刑務所の方へ廻ってしまったの
でした。私は今でもあの娘の身体のきずを忘れることが出来ません。

中山のお母さんはそういつて、唇をかんだ。

——一九三一・一一・一四——

青空文庫情報

底本：「日本プロレタリア文学集・20 「戦旗」「ナツプ」作家集（七）」新日本出版社

1985（昭和60）年3月25日初版

1989（平成1元）年3月25日第4刷

底本の親本：「小林多喜二全集第三卷」新日本出版社

初出：「帝国大学新聞」

※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ケ」（区点番号586）を、大振りにつくっています。

1931（昭和6）年11月23日号

入力：林 幸雄

校正：ちはる

2002年1月14日公開

2005年12月13日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

疵

小林多喜二

2020年 7月17日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>